

“わたし”と“あなた”が出会う場所

# 「コーヒーハウス」へようこそ！

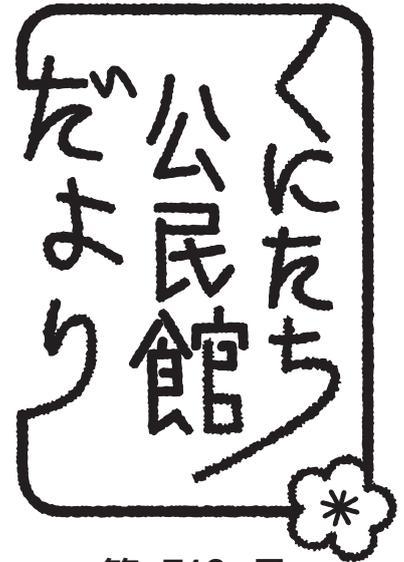


しょうがいしゃ青年教室・喫茶わいがや  
スタッフ募集中！！



みなさんは、公民館に若者たちが集う場所があるのを知っていますか？1階からほんの少し階段を下りると、喫茶コーナー「わいがや」が、その隣には「青年室」という部屋があります。そこには、しょうがいのある・なしに関わらず色々な若者がやってきました。喫茶わいがやでコーヒーを淹れるスタッフ、しょうがいしゃ青年教室で様々な活動を楽しむしょうがいのあるメンバー……。コーヒーを片手に語り合うもよし、自分の特技を披露するもよし。色々な人が「わいがやがやがや」する活動を、まとめて「コーヒーハウス」と呼んでいます。

今回は、喫茶わいがやで頑張るスタッフと、コーヒーハウスの若者たちが企画した「青年講座」の参加者に、その魅力や想いを寄せてもらいました。



第 713 号

2019年 7月 5日

(令和元年)

「くくにたち公民館だより」

ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日



「みんなで思い出をつくろう！ 合宿」

## 自分の居場所 II

### 誰かの居場所

比嘉 健太

国立市公民館には、青年室という部屋があります。ここはしょうがいしゃ青年教室（以下、しょう青）に参加する人たちが集まった

置いてあったり、昔のしょう青の資料が保管されてたり：公民館が空いていれば自由に出入りしているそこそこオープンアな空間です。

なので、わいがやを開けているとメンバーさんが時々青年室に来るといのは日常の風景です。

青年室という空間の中ではしょうがいの有無にかかわらず、また年齢にかかわらず本音で語り合います。仕事での辛い話、家族との旅行の話、恋愛の話：自分が思っていることを自分の言葉で話します。だから時には何気ない一言で相手を傷つけてしまうこともあるけれど、そういう時は「こうい

## 今月の公民館 (7月、8月初)

\*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 11日(木) 夜 ブッククラブ 多和田葉子「献灯使」
- 19日(金) 夜 「しょうがいしゃの学習権を考える」
- 20日(土) 朝 「ミステリーが面白くなる、科学捜査の世界」
- 21日(日) 昼 図書室のつどい 「夏目漱石とクラシック音楽」
- 26日(金) 昼 介護の喜・怒・哀・楽を短歌に詠もう
- 27日(土) 朝 平和について考える連続講座② 「シリアの「今」から平和を考える」
- 27日(土) 昼 「大気の衛星観測」
- 28日(日) 昼\* CINEVOX 公民館映画会『黒い雨』
- 8月2日(金) 夜 「働き方改革はどんなふうに変えるか」
- 8月3日(土) 昼 男性の料理入門夏休み特別企画 「ミルクマジック！」
- 8月4日(日) 昼 平和について考える連続講座③ 「特攻の真実～なぜ、誰も止められなかったのか～」
- 8月4日(日) 昼 目で見て楽しむプログラミング講座



「美味しい一杯」  
(比嘉さん)

こと言われたら相手は嫌な思いするでしょ？」と意見を言うこともあります。またこのメンバーさんはこんな言葉が苦手なんだな…と初めて知ることもあったり、この行動をとると落ち着くんだな…と今まで知らなかったことを知れたり、お互い本音で語り合うことによって、より相手を理解し合ったり成長し合う場所が青年室だと私は思います。

しょうがいのある人、ない人、会社勤めの人、主婦の人、フリーランスの人、大学生、高校生、就活中の人…など青年室は様々な人が集います。

私が青年室を使うのは大体「わいがや」のお店番に入る時が多いですが、お店を閉める頃になると青年室に現れるメンバーさんがいます。青年室に現れると彼は謝る言葉が多く、またか…と思うこともあるけれど、これは彼なりのコミュニケーションの取り方なのだと、私は気にならなくなりました。

しかし、全ての人にこれが通用するわけではなく、青年室に彼を受け入れてくれる人が必要なんだなと思っていました。私はしょうがいを持っている人の生活の苦労や生きていく上での苦しみをすべて分かっているわけではありません。

私たちが普段平気だと感じてる出来事や他人の言動も彼らは傷ついたり、深く考え込んでしまうことも多々あります。私は彼らの話を否定もせず肯定もせず聞くことしかできません。ただ自分の本音を言える場所がある、話を聞いてくれる人がいる、そのことが大事なことなんだなあ…と思うのです。

彼にとって青年室は大切な居場所であり、彼を受け入れる人がいます。彼に限らず他のメンバーさ

んやスタッフ、自分にとっても同じことで職場や学校、家庭以外で自分の居場所があることってすごく貴重で大切にしていかななくてはいけないと思っています。しょうがいの有無も年齢も性別も関係なく、相手を尊重し合う場所が青年室なのです。「自分の居場所」誰かの居場所である青年室という空間を私は大事にしたいと思っています。

長々と文章を書きました。私が一番言いたいことをひとつ：美味しいコーヒーを淹れて待っています。是非わいがやに来てください。

**青年講座「葛藤を学びに変えるーインクルーシブな社会を目指す実践とはー」に参加して**

加藤 旭人

「葛藤を学びに変える」に参加したのは、今回の講師の津田英二さんが、私が関わっている「国立五日制の会」にゆかりの深い人で、「ぜひ津田さんに会ってみたい！」と思ったからです。

「国立五日制の会」は、「しょうがいのある人も、ない人も、共に育み合う仲間として、地域でか

わりながら楽しく過ごす」ことを目指して、毎月第二・第四土曜日の午前中に、国立市内の公共施設にて、音楽・スポーツ活動を行っています。「国立五日制の会」は、学校週五日制の試験的導入の際に「調査協力校」となった東京都立立川養護学校（現・武蔵台学園）ではじまった教職員と保護者の活動にゆらいがあり、1992年から現在まで活動を続けています。

津田さんは、国立市公民館のコーヒーハウスに関わられたら「国立五日制の会」で音楽活動を行っており、私はそのルーツを知りたいと思いました。

当日の会は、津田さんのジャズ・アルトサクソフの演奏からはじまり、津田さんの国立での活動や神戸大学で取り組んでいる「のびやかスペースあーち」等の活動の紹介がありました。

津田さんは、これまで取り組んできた活動を、そのプロセスで感じた葛藤に焦点を当てながら共有してくれました。活動を運営するなかで、どうしても上手く関われ



「津田さんのサクソフ演奏」

ない人がいること。それは、本人の課題であると同時に、周囲の人の課題でもあること。そして、本人と周囲を取り巻く社会のあり方も課題であること。また時には、津田さん自身も「関わりたくないな、いやだな」と思うことがあること。それらとは別に、現実的にはその時々で利用可能な資源を組み合わせなければいけないこと。津田さんは、こういった経験をひとつひとつ丁寧で紹介してくれました。

津田さんの話を聞いた後で、参加者がそれぞれの場で感じる葛藤を共有する時間を持ちました。私自身も、複数の人が関わるなかでさまざまな思いが交錯し、活動に関わる当事者を板挟みにしてしまつた苦い経験を話しました。そうして参加者が自らの経験を語るなかで、それぞれの参加者の経験がつながっていることが少しずつ見えてきました。

それぞれの参加者が語っていたのは、「対話の困難さ」における葛藤の経験でした。津田さんや参加者は、それぞれの場面において、対話が必ずしも上手くいかないことを経験していました。ただ、それぞれの経験を共有するなかで、そういった経験を失敗とみなしたり、あるいは葛藤をないことにするのはではなく、「対話が成立する

条件」を問いかける経験として捉え直す方向へと議論は進みました。



「葛藤とは……？」(右端が加藤さん)

では、「対話が成立する条件」とはどのようなものでしょうか。ひとつには、葛藤をいたずらに排除しないこと。葛藤があることは認めたいうえで、関係性そのものは断ち切らずに、留め置いておくこと。その際には、とくに関係性の困難を抱え込まないこと。このためにも、多様な人がゆるやかに関わりながら関係性を作っていく場には、わかりやすい形にはならないかもしれないけど、大きな可能性があること。これらのことを、それぞれの経験を語りながら確認しました。また、「国立五日制の会」の目指すもの可能性がここ含まれるようにも思いました。これからも、多様な人と出会い関わりながら、みなさんと共に学びたいと思います。

## 公民館×若者＝「おもしろい！」

### 「しょうがいしゅ青年教室」「喫茶わいがや」一緒に活動してくれるスタッフ大募集中!!

以下のコースなどに分かれ、しょうがいのあるなしを超えて学びあい、楽しみあうことを目指して活動しています。スタッフは、活動の企画・運営を協力しながら行います。月1回からでも、未経験でも大丈夫!まずはお気軽にお問合せください。(対象:高校生～30代くらい)

#### 〈7月の予定〉

**料理** さまざまな料理をこだわって作ります。

7月20日(土)  
夕5時半～

「カレーうどん」  
「真剣に作品づくり(クラフト)」

**クラフト** オリジナルのアートや工作を作ります。

7月27日(土)夕5時半～「蚊取り線香入れづくり」

**Y Y W** 参加者みんなで企画を相談し、実践します。

7月28日(日)昼2時～「ボーリング」



「真剣に作品づくり(クラフト)」

**スポーツ** さまざまなスポーツにチャレンジします。

7月5日(金)夜6時15分～「ドッジボール」

**喫茶実習** 「喫茶わいがや」でコーヒーを淹れたりします。市民団体の運営で休館日以外の12時～18時に開店します。

\*8月はお休みですが9月以降も毎月活動します。クリスマス会などコースに分かれない全体イベントもあります。

申込・問合せ先 公民館 ☎ (572) 5141

✉ sec\_kominkan@city.kunitachi.lg.jp



「楽しく食事!(料理)」



メールの  
QRコードだよ



〈若者対象・青年講座〉

## しょうがいのある人も一緒に学ぼう 目で見て楽しむプログラミング体験



「プログラミング」の技術は、スマホのアプリやパソコンのソフトだけでなく、家電機器からロケットまで、私たちの生活のあらゆることに使われています。その一方、高度で、特殊な専門分野であると見なされがちです。

そこでプログラミングの基本に触れながら、色や形を変化させるコンピュータ・グラフィックスに挑戦してみませんか?

簡単な動きからスタートします。

今回は無料の開発環境 Processing を使い、講師だけではなく受講者同士でやりとりしながら、その初歩をみんなで学んでいきます。そして、創作を通して「しょうがい」と呼ばれるような多様性もつなぐ表現を目指します。

講師 宇佐美 <sup>ただし</sup>理 (青年室スタッフ)

とき 8月4日(日)昼2時～4時

ところ 公民館1階 青年室

対象 しょうがいのある方と一緒に活動することに関心のある高校生から40歳くらいまでの方  
身体・精神・発達のいずれかのしょうがいのある方の参加大歓迎です(後日面談をする場合があります)。

備品 ノートPCをご準備ください。借用したい方はご相談ください。

定員 5名(申込多数時抽選)

申込先 7月9日(火)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5141



「しょうがいのあるなしに関わらず  
みんなで楽しく学びます！」

\*公民館では、青年室や「喫茶わいがや」など様々な活動にボランティアとして青年が関わっています。「青年講座」は、そんな若者が企画した講座です。

〈平和について考える連続講座③〉

### 特攻の真実

～なぜ、誰も止められなかったのか～

講師 大島 隆之 (NHKエンタープライズ)

昭和19年10月に始まった日本軍による体当たり攻撃“特攻”は、なぜ終戦まで1年近くも続き、4,500人も若者が命を落とすことになったのか……。元特攻隊員や遺族への証言取材を中心に長年この問題に向き合ってきた大島さんに、軍中枢の思惑やメディアが果たした役割など、特攻拡大の背景にあった「真実」をお聞きます。

運命の分かれ道となったひとつひとつの判断には、今の私たちでも共感できる部分や、犯しがちな過ちが潜んでいると言います。現在に置き換え、考えていきます。

〈大島さんの著書〉

『特攻 なぜ拡大したのか』(幻冬舎) ほか

とき 8月4日(日) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定員 50名(申込先着順)



〈平和について考える連続講座②〉

### シリアの「今」から平和を考える

～ふるさとを失った難民たちの日々を通じて～

講師 小松 由佳 (フォトグラファー・登山家)

2011年からアラブの春の波として始まったシリア内戦。政府側・反政府側に分かれて激しい武力衝突がシリア各地で繰り返され、人口2,240万人のうち25万人とも50万人ともいわれる死者を出し、560万人以上が国外へ逃れ難民となっています。

日本人女性として初めて世界第2位の高峰K2(8,611m)を登頂し、その後、シリア内戦・難民を二眼レフカメラ片手に取材してきた小松さんから、内戦前の人々の暮らし、内戦後の難民の今などについてお聞きます。取材した難民一人一人のストーリーを通して、私たちができることや、「平和」そのものを考えるきっかけにしたいと思います。

〈小松さんの著書〉

『オリブの丘へ続くシリアの小道で～ふるさとを失った難民たちの日々～』(河出書房新社)

とき 7月27日(土) 朝10時～12時

ところ 公民館 地下ホール

定員 50名(申込先着順)

※いずれも現在申込受付中です。連続講座ですが、1回でも参加できます。申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

## 介護の喜・怒・哀・楽を短歌に詠もう

—介護短歌を通して、家族との関係を見つめ直す—

講師 小谷 あゆみ

(フリーアナウンサー、

NHK Eテレ「ハートネットTV 介護百人一首」司会)

介護をする方、される方が日々の生活の中で経験する、さまざまなエピソードや想いを短歌にしてみませんか？

31文字に目ごろ感じているつらさ、悲しさ、怒り、不安、笑い、そして優しさを表して、オモイを共有できればと思います。介護をしている方も、していない方も、お気軽にご参加ください。

◆第1回 7月26日(金) 介護の達人は人生の達人！

介護短歌ってどんなもの？

◆第2回 8月30日(金) 介護短歌 作品紹介

\*1回のみ参加も可能

時間 昼2時～4時(全2回)

ところ 公民館 3階講座室

定員 18名(申込先着順)

申込先 7月9日(火)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈わたしたちのワークライフバランス〉

### 働き方改革は

### どんなふうに変えるか

講師 中野 麻美 (りべるて・えがりて法律事務所)

「働き方改革関連法」が今年4月から順次、施行されています。残業の罰則付き上限規制や同一労働同一賃金などがうたわれていますが、「残業がなくなる」「非正規雇用で将来が不安」「生活と仕事の両立ができずしんどい」……といった声はまだまだ聞かれます。どうしてなのでしょう？

いま、どのような課題があり、誰もが本当に働きやすくなるには何が必要なのか。そして、働くわたしたちを“守る”「制度」や「権利」にはどのようなものがあり、使うことができるはずなのか。長年にわたり、非正規雇用の課題や労働問題と向き合い続けてきた弁護士の中野さんにうかがいます。企業本位ではない、わたしたちのための「働き方」を、いま、見つめなおしてみませんか？

とき 8月2日(金) 夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

定員 35名(申込先着順)

申込先 7月11日(木)朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



# 〈男性の料理入門・夏休み特別企画〉 ミルクマジック!

講師 北川 みどり (管理栄養士)

夏休みのお昼ご飯を、お父さんと一緒に作ってみよう! 牛乳や生クリームからいろいろなものを作ることができます。バター、カッテージチーズ、アイスクリームなど、まだまだできるかもしれません。作った物をパンにつけたりサラダやデザートに使って楽しいお昼ごはんにしましょう。その他トマトシチューも作ります。◇  
どうぞご参加ください。



とき 8月3日(土) 朝10時~昼1時  
場所 福祉会館 3階料理講習室  
定員 親子8組(お祖父さんでも可)(申込先着順)  
費用 一組(子ども1人まで)1,200円  
(子ども2人まで)1,400円  
(子ども3人まで)1,600円

7月26日(金)までに公民館へお支払いください(受付時間:月曜日以外の朝9時~夕5時)。当日払いはできません。食材購入後のキャンセルは実費をご負担していただきます。

持ち物 エプロン、三角巾(タオル可)、筆記用具、ポリ袋(ゴミ持ち帰り用)、ふきん(台ふき用、皿ふき用)  
申込先 7月10日(水)朝9時~  
公民館 ☎(572) 5141

## 第64回くにたち市民文化祭 —総合美術展のお知らせ—

実行委員会企画「総合美術展」を以下の日程で開催します。会場は公民館です。

◆期間 11月12日(火)~11月17日(日)  
募集要項は8月1日(木)以降、次の施設に置いてあります。皆様のご応募をお待ちしています!

【募集要項配布場所】  
公民館、市役所総合案内、中央図書館、郷土文化館、芸小ホール、福祉会館、北・南市民プラザ



# シネボックス (CINEVOX) 公民館映画会 『黒い雨』 今村昌平・林原グループ 1989年 白黒123分

監督・脚本 今村昌平 原作 井伏 鱒二  
脚本 石堂淑朗 撮影 川又昂 音楽 武満徹  
出演 田中好子、北村和夫、市原悦子、沢たまき、三木のり平、小沢昭一、小林昭二ほか

被爆者の悲劇を淡々と静謐な筆致で描いた井伏鱒二の名作を、巨匠・今村昌平監督が映画化した力作。抑制を効かせながらも力感溢れる演出と、深みのある美しいモノクロ映像が静かに戦争の残酷さを訴える。



とき 7月28日(日) 昼2時~(開場1時)  
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)  
\*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

## 〈科学技術講座〉 ミステリーが面白くなる、 科学捜査の世界 ~法科学鑑定から見た、科学技術のすごさ~

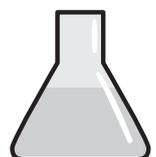
お話し 清野 優花 (法科学鑑定研究所)

自然科学の理論と技術を活かして巧妙な犯罪などの解決に貢献寄与する科学技術を学びませんか?

近年、OECD(経済協力開発機構)の国際学力調査に、様々な自然現象などを分析して読み解く力『科学リテラシー』が追加され、日本でもその重要性が高まっています。本講座ではミステリー小説、ドラマ、アニメなどにも登場する科学捜査に用いられている科学技術『法科学』に注目します。

近年解き明かされた事件や、科学捜査の観点から解決できた事件には、科学技術の活躍があります。DNA解析など法科学の解析・鑑定を支える科学技術のしくみや役割のすごさに驚くかもしれません。また、普段知ることができない仕事の様子などもご紹介いただきます。ミステリー好きも、科学に興味がある方も楽しめる内容です。お気軽にご参加ください。

とき 7月20日(土) 朝10時~12時  
ところ 公民館 3階講座室  
定員 30名(申込先着順)  
申込先 7月9日(火)朝9時~  
公民館 ☎(572) 5141



〈人権講座〉  
**しょうがいしゃの学習権を考える**  
～しょうがいしゃの学びの現状と課題から～

講師 小林 繁 (明治大学)

近年、しょうがいしゃが生涯にわたって学び続けるための環境整備が進められています。2011年の「障害者基本法」の改正、2013年の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の成立といった制度改革をふまえて、2014年には「障害者の権利に関する条約」が批准され、共生社会実現にむけた様々な取り組みが行われています。

しかしながら、学校卒業後のしょうがいしゃの学びの現状は、学習の場やプログラムが身近になかったり、学びたいしょうがいしゃに対する社会の理解がないなど、まだ多くの課題を抱えています。

しょうがいしゃのこれまでの学びの状況をふまえ、どのようにこれからの学びを展望するかなど、しょうがいしゃの学習権を考える機会にしたいと思います。

とき 7月19日(金)夜7時～9時  
ところ 公民館 3階講座室  
定員 25名(申込先着順)  
申込先 7月7日(日)朝9時～  
公民館☎(572)5141

〈くにたちブッククラブ 言葉に寄りそい時間を超えよ〉  
**多和田葉子「献灯使」**  
(講談社文庫)

講師 小平 麻衣子 (慶応義塾大学・日本近代文学)

とき 7月11日(木)夜7時半～9時半  
ところ 公民館 3階講座室  
申込先 公民館☎(572)5141

\*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読みを出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

**11月のブッククラブが日程変更になります**  
11月14日(木)に予定していましたブッククラブが、総合美術展開催期間中のため、11月7日(木)に変更になりました。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、お間違えのないようお願いいたします。(なお、時間、場所、作品、講師に変更はありません。)

〈図書室のつどい〉  
**夏目漱石とクラシック音楽**

お話し 瀧井 敬子 (元 東京藝術大学特任教授)

明治時代の知識人にとって西洋音楽は欠かせない教養だったといわれています。

今回は、夏目漱石を中心に、森鷗外の西洋音楽体験との比較をするとともに、漱石が残した日記や手紙などから、どのようにしてクラシック音楽に親しみを持ったのか、さらに、それが漱石の小説に、どのように反映されていたのかをお話いただきます。音楽から文学の奥深さを考えたいと思います。

〈瀧井さんの著書〉  
「夏目漱石とクラシック音楽」(毎日新聞出版)、「漱石が聴いたベートーヴェン」(中公新書)、「森鷗外訳オペラ「オルフェウス」」(紀伊國屋書店)ほか

とき 7月21日(日)昼2時～4時  
ところ 公民館 3階講座室 定員 35名(当日先着順)  
\*申し込み不要です。ご自由においでください。

〈環境講座〉  
**大気の衛星観測**  
～ 雲やチリからみる環境への影響 ～

講師 中島 孝 (東海大学)

気象衛星1号が打ち上げられてから半世紀以上が経ち、今では毎日のように私たちは気象画像を目にしています。そのような中、気候変動など地球環境問題が深刻化しており、ますます地球を正確に診断することが求められています。今回は、衛星からの観測データを解析し、20年以上にわたって雲や大気中のチリを研究している中島さんに、台風や水害、エアロゾル(PM2.5など大気中に浮遊する微粒子)など最新動向と今後の展開について、お話をうかがいます。宇宙から見る地球環境について考えてみませんか。

とき 7月27日(土)昼2時～4時  
ところ 公民館 3階講座室  
定員 35名(申込先着順)  
申込先 7月11日(木)朝9時～  
公民館☎(572)5141



**公民館運営審議会報告**

6月11日(火)第32期第8回例会を開催。委員15名、館長、職員2名出席。傍聴者2名。  
前回議事録確認

**報告事項**

- 公民館だより編集研究委員会  
公民館利用者連絡会といった公民館を支える団体について、公民館だよりで紹介する機会を作れないか、という提案があった。
- 社会教育委員の会  
第1回を開催。新しい委員での顔合わせ、委嘱状の受諾が行われた。
- 東京都公民館連絡協議会  
委員会研修会の講師が決定した。テーマは「公民館の活性化」若者に魅力ある公民館にするには、9月7日(土)に実施予定。
- 社会教育学習会検討委員  
市民から要望のあった「学習の自由」の学習課題を念頭に置きつつ、具体的な講座企画として、国立市に存在する格差の把握を出发点にした一連の講座を検討中。

**協議事項**

- 令和元年度事業計画・予算報告  
前回に引き続き、館長より昨年度公民館事業の全体状況、今年度の公民館予算・主催事業方針に関する報告を受けた。委員からは多数の質問があり、特に「自立に課題を抱える若者支援に係る事業」について、実施背景、実施状況や公民館における当事業の意義等、質問・議論が盛んに行われた。
- 次回定例会は7月9日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(末光)

# ひるば

(8ページにもあります)



上品な「テッセン」が咲きました  
撮影 和賀 一さん(西)

## 令和元年8月スタート

『寺子屋―論語(論語)の新企画  
「子どもの手本となる年の重ね方」  
(第一章) 柔軟な体力を養おう!  
(内容) ヨガ、論語の素読。一回  
千円。子供大人も一緒にどうぞ。

日時 隔週水曜日 昼2時  
場所 東福祉館  
連絡先 本越090(7613) 2025

## やさしい英会話中級コース募集

日常生活や本や映画等の感想を  
語り合い英会話のレベルアップを  
図るクラスです。月四回レッスンの  
内英国人講師二〜三回。見学飲  
迎。詳細はお尋ね下さい。

日時 火曜日 昼3時35分  
場所 公民館 中集會室他  
連絡先 三好042(848) 4632

## 植物画スイトピーへのお誘い

今月はポピーを描いています。  
二ヶ月に一点のペースで植物の姿  
を水彩又は顔彩で描写。やさしい  
指導のもと楽しんでおります。今  
回、七月からの参加者募集です。

日時 隔週水曜日 昼1時半  
場所 芸術小ホール 地下アトリエ  
連絡先 安井080(5528) 2658

## デジタル写真(写真) 会員募集

撮影会は月1〜2回。又月1回  
会員が写真データを持ち寄りプロ  
ジェクターで投影して皆で話し合  
う合評会も行われます。写真に興  
味のある方一緒に撮りませんか。

日時 第1・3・4金曜日  
場所 公民館及び撮影会計画場所  
連絡先 徳永090(9014) 4925

## ハーモニカを吹いてみませんか

シニアのみのクラブ。主に合奏  
曲を楽しみ、譜面は数字譜使用で  
簡単です。複音ハーモニカは肺活  
量を高め健康増進にも良いと言わ  
れています。見学大歓迎。

日時 毎週金曜日 朝9時半  
場所 富士見台防災センター  
連絡先 和田(576) 8465

## 国立あひるグループ会員募集

ア・カペラに挑戦し続けて50年  
の女声合唱団です。今ここに集う  
一人一人の想いを歌声の花束にし  
て届けましょう。あなたの人生に  
新しい風が吹くワンモアチャンス。

日時 毎週金曜日 昼1時半  
場所 公民館 地下ホール  
連絡先 重見(576) 4557

## 手のひら健康バレーへのお誘い

中高年の皆さん!!健康維持と仲  
間つくりの為に、バレーボールを  
楽しみませんか?柔らかな軽いボ  
ールで男女混合チームです。何方  
でも出来ます。見学して下さい。

日時 毎週水曜日 昼1時  
場所 総合体育館  
連絡先 宮本(571) 6430

## 社交ダンス会員募集

運動不足の方、社交ダンスを始  
めてみませんか。基本を大事にし  
ながら、少し難しいステップも挑  
戦。女性多数のため男性歓迎。講  
師三名丁寧指導。社交ダンス絆

日時 毎週火曜日 昼3時  
場所 公民館 地下ホール  
連絡先 桜井090(5359) 4846

## 気功太極拳「宙の卵」会員募集

身体と呼吸と気持をひとつにし  
て動かしましょう。私という小さ  
な自然が大自然とつながっている  
ことを実感しましょう。型を通じ  
自分なりに動けます。見学歓迎。

日時 火・土曜日 朝10時〜11時半  
場所 東福祉館集會室又は大広間  
連絡先 齋田(576) 0316

## 数学を楽しむ会(七ヶ月)

七月は、古代ギリシャに始まる  
「図形数」や、洒落た名前の「友  
愛数、婚約数」等の紹介です。き  
つと数学を身近に感じていただけ  
ます。お気軽にお越し下さい。

日時 7月13日・20日(土) 昼1時  
場所 公民館 集會室  
連絡先 山本(572) 1028

## 高校選抜応援セミナー

毎年大好評の「中学生と保護者  
のための高校選抜応援セミナー」。  
現役高校生がありのままの高校生  
活を語ります。中学生必見!主催  
国立の子どもと教育を守る連絡会

日時 7月15日(祝) 昼2時〜4時  
場所 北多摩西教育会館 3階  
連絡先 岸岡090(6719) 0914

## ジュニア短期水泳教室募集

19年度ジュニア育成地域推進事  
業。小学1〜6年生対象。初心者  
から泳力別に公認指導員が担当し  
ます。参加費無料。先着80名。締  
切14日。国立市水泳連盟

日時 7月18〜26日 夕4時〜6時  
場所 総合体育館 室内プール  
連絡先 堀(575) 8381 夜間

## ヘンプアクセサリーを作ろう!

アサ科の大麻(おおあさ)をヘ  
ンプと言ひ、ひも状に加工した手  
芸用ヘンプで、ストラップを作り  
ます。初めての方でも楽しんでい  
ただけます。材料費込700円。

日時 7月20日(土) 昼2時〜要予約  
場所 市 谷保駅北口徒歩1分  
連絡先 たまりば(843) 0443

## ジュニアソフトテニス講習会

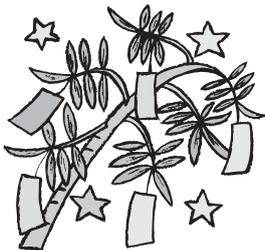
プロコーチによる初心者から上  
級者までレベルに応じたレッスン  
です。ソフトテニス連盟。対象者  
小学生、中学高校生。参加費無料  
申込締切7月28日(日)。

日時 8月9日(金) 9時〜(予備13日)  
場所 広場テニスコート  
連絡先 平野(576) 7815 FAX共

## ジュニア育成剣道講習会

元年度ジュニア育成地域推進事  
業。小中学生対象、初心者から経  
験者までクラス別に指導。参加費  
無料。国立剣道連盟主管

日時 7月31日〜8月4日  
朝9時  
場所 第三小学校 体育館  
連絡先 樋口(575) 7599



《公民館ロビー・コンサート》  
**ギター・コンサート**

演奏とお話 ギターサークル かなで(演奏グループ)

サークル紹介展示期間中のロビーでギター演奏会を開催します。

演奏する「ギターサークル かなで」は、ギター好きな仲間が集まり、クラシック曲からさまざまなジャンルの曲に挑戦している市民グループです。

心地よいやわらかなギターの音色を聴きながら、ロビー横の「喫茶 わいがや」の冷たい飲み物とともに涼みませんか。

とき 7月20日(土) 昼12時  
15分～1時頃

ところ 公民館 1階市民交流  
ロビー

\*ご自由においでください。



**サークル紹介パネル展**

～つくる・つどう・つながる～

とき 7月18日(木)～28日(日)  
 場所 公民館 1階市民交流ロビー  
 共催 公民館利用者連絡会

公民館で活動しているグループ・団体をパネルで紹介いたします。自分にあった活動を見つけ、出会いの輪を広げませんか。

「仲間をたくさんつくりたい」「同じ趣味を持っている人とつどいたい」「地域で活動している方とつながりたい」…。サークルを探している方は、ぜひご覧ください!

**公民館ロビー“涼み処”に  
お立ち寄りください**

夏の節電対策の一環として、また熱中症の対策として、ロビーを活用した“市民涼みの広場”を開設しています。ぜひお立ち寄りください。

**\*公民館の外壁工事を  
実施します\***

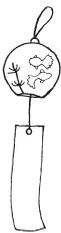
公民館は、建築基準法に基づく調査によって外壁改修工事を6月13日から1月15日の工期で実施しています。大きな音が出る工事です。

7月上旬頃から11月中旬頃までを予定しています(気象状況等によっては11月末まで伸びる場合があります)。工事の時間は、日曜日を除く平日及び土曜日、祝日の午前8時から午後6時です。

工事期間中の施設利用に際して、駐輪場・しょうがいしゃ駐車場・東側スロープ等の閉鎖、南北出入口以外の使用が不可となり、工事音や振動が生じます。公民館の各部屋はご利用いただけますが、会議・講演会等で静かな環境を希望される場合は、他の施設での実施をご検討ください。

ご利用の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、安心してご利用いただける施設づくりを目指しますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

公民館 ☎ (572) 51441



〈サークル訪問333〉  
**水彩画サークル  
「くにたち彩の会」**

国立市「市民一芸塾」の講座で学んだことが縁となり、講座終了後に会員の皆さんで立ち上げた水彩画サークルです。

芸術小ホール地下のアトリエでは、岩淵麻理先生(武蔵野美大卒業)と会員十名が思い思いのテーマに取り組んでいました。

会の目標は二つあります。ひとつは自分らしさを目いっぱい出している絵を描くこと。そして絵を描くことを楽しむことです。

それぞれの会員の正面、その目線の先には、スニーカー・帽子・鉢植えなどが置かれ、みなさん盛んに筆を走らせています。作品を覗いてみると、画用紙にあふれる強烈な赤が目飛び込んで来ました。描かれていたのはスキー靴。実に力強いです。写生会で行った根川緑道の桜を描いている方もいます。優しい色があふれています。どの方を見ても、表現が全く違います。

指導されている岩淵先生は「皆さんがすぐく仲良しです。私は、何をやりたいのか、描きたいのかを最優先に引き出して基本技法をサポートしています。普通の教室

ではみんなが似たものを描く傾向があるのが、ここは全員が違うのです。」と、うれしそうに話してくれました。インタビュースト、お隣同士で色、光や構図について会話が弾んでいます。ここちよい場で絵を描きたい、楽しみたい方は、現在若干名受け入れができません。

日時 第一・第三木曜  
午前9時半～12時(2時間半)  
場所 芸術小ホール アトリエ  
連絡先 横井(572) 7752

〈文・写真 山根浩子〉



自分らしさを目一杯に